

ミミズ乾燥粉末のマウス及びラットを用いた急性毒性試験

国立大学法人岐阜大学
応用生物科学部連合獣医研究科 鬼頭克也

◆試験方法

ミミズ乾燥粉末)の安全性を確認するための一つとして、マウスおよびラットを用いて急性毒性試験を実施した。ddy系マウス(雄5匹)ならびにWister系ラット(雄5匹)を用いて、OECD Guidelines for the testing of chemicals 401 Acute oral toxicity(1987)に準拠し、急性経口毒性試験(LD50)を実施した。マウス群に対しては5000mg/kg、ラット群に対しては8000mg/kg 用量を14日間、経口にて単回投与を行った。

◆試験概要

1) 投与検体

ミミズ乾燥粉末(ワキ製薬株式会社提供)

2) 被検動物

ddy系マウス (雄計5匹)

Wister系ラット(雄5匹)

3) 試験実施場所

国立大学法人岐阜大学 応用生物科学連合獣医学研究科
岐阜県岐阜市柳戸1番1号

4) 試験責任者

国立大学法人岐阜大学 応用生物科学連合獣医学研究科教授 鬼頭克也

5) 試験実施期間

平成20年6月18日から平成20年7月8日まで

◆試験結果

ミミズ乾燥粉末を14日間継続的に経口より単回投与し観察を行ったが、投与期間を通じて、マウスならびにラットとも死亡は一例も認められなかった。また、一般状態、体重の急激な変化も認められなかった。観察期間終了後、剖検を実施したが異常は認められなかった。以上の結果より、ミミズ乾燥粉末)のマウスならびにラットの経口投与におけるLD50値は、ともに5000mg/kg以上と推定される。